

最新ニュースをお届けします！



No.201

今年仲間入りした動物たち♪

11月4日から冬期休園に入り、1カ月が経とうとしています。今年もたくさんご来園いただき、ありがとうございました。

今年1年振り返ると、新しい種類の動物を迎えられたことや昨年はお知らせできなかった赤ちゃんの話題もあり、にぎやかだったように感じます。

今年仲間入りしたひつじさん達やアヒル、カモの仲間達、ママにしっかり育ててもらったインドクジャクとモルモットなど、来春もかわいらしい姿をぜひお楽しみ下さい！



ひつじ



アヒル・カモのヒナ



インドクジャクのヒナ



インドクジャクの親子



モルモット

今年仲間入りした動物たち（ひつじ、アヒル、カモ、インドクジャク、モルモット）

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706
指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】
★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop>



移住Cコシモトの

栗山移住 こしょこしょ話♪



暮らし体験住宅横で栗ひろい

栗山町移住コーディネーター
文：腰本 江里沙
(通称：移住Cコシモト)

Instagram も
要チェック！→



第4話「暮らし体験を通して見えるもの」

移住を考えている人たちに栗山がどんなまちか知ってもらうため、私たちは「くりやま暮らし体験」を実施しています。1週間から1カ月程度「暮らし体験住宅」に滞在している間、町内案内だけでなく、希望に応じて仕事や住まい、学校などの見学にもお連れします。

体験した人からは「観光では見えないまちの様子を知ることができた」との感想をいただくことが多いですが、その理由は「地元の人との交流」。実際に住む人たちの言葉には説得力があり、まちの良い面だけでなく、困っていることや課題についても話してくれることに誠実さを

感じ、とても印象に残るようです。もはや町民ひとりひとりが「まちの案内人」とあってと言っても過言ではありません！

実際の移住に結びつくとは嬉しいですが、そうならなくても栗山での滞在が良い思い出として訪れた人たちの胸に刻まれるといいなと思います。もしも町のどこかで私たちを見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね！



町内の会社でお話を伺いました

No.29

馬産地への夢ー谷田清次郎「頌徳碑」

馬は農業に欠かせない動物として、町内には最盛期、二千頭を超える馬がいたと記録されています。馬と農業の関わりは、昭和54年にまとめられた水野直治先生の「馬耕時代の農作業」に詳しいところです。実は栗山は戦前まで、農耕馬や軍馬の一大生産地でした。その栗山で優秀な馬を育て、馬産地にしようと夢見た人物がいます。今の谷田製菓にも繋がる谷田清次郎氏がその人でした。牧場や栗山競馬場の造成、長万部種馬所の栗山種付所の設置、栗山家畜市場の開設など、栗山を一躍馬産地として押し上げた功労者でした。当時の栗山家畜市場（栗山競馬場跡）に大正8年に建立されたのが、谷田清次郎氏の「頌徳碑（しょうとくひ）」



「北海タイムス」記事に載った頌徳碑（大正8年）

くひ」です。頌徳碑はその偉業・功績を讃えるために建立された碑で、除幕式は11月16日に関係者により盛大に執り行われ、当時の新聞にも紹介されています。時代は移り、昭和の終わりには町内での飼育頭数はわずか10頭前後となり、今は農耕馬の姿を見ることがありません。碑は小林酒造倉庫群の道路向い、本門寺境内の木立に隠されたように、遠い栗山の時代の記憶を刻んでいます。

町史資料調査室・研究員／青木 隆夫

町史の 隠れ家

栗山の知られざる歴史、今ここに蘇る

YouTubeで
歴史コンテンツ
公開中！



町史資料調査室
☎ 76-7820

No. 100

新しい力で栗山を元気に 地域おこし 協力隊です



KURIYAMA ORIGINAL PROJECT

きたやま さやか 北山 沙也加 隊員

出店情報などは Instagram
で発信中！→



@SMILEBACK_FOODTRUCK

SmileBack Foodtruck から栗山町の魅力を伝えます！

こんにちは！ KURIYAMA ORIGINAL PROJECT（起業型）の北山沙也加です。

皆様のおかげで、今年4月で協力隊3年目（クレープブランド SmileBack Foodtruck2年目）となりました。

私はフードトラック（キッチンカー）で地域の素材を活用したスイーツを提供し、栗山町の素材と町民のあたたかさなど、私の本音でまちの魅力を発信しています。

今年はフードトラックでの営業以外に、道外へ出て東京の北海道物産展での販売や大阪の催事への出店予定、札幌の物産展に参加など、栗山町を出てPR

しつつ、新たな挑戦をしています。

その中で多くの人と出会い、栗山町の食材の提供と会話を通して魅力を伝えてきました。これらの経験から、多くの反省と課題を得て、また一歩成長することもできました。これも多くの人の応援があって、今があると思っています。本当にありがとうございます。

今後も成長を追い求めつつ、未来の若者にとってのロールモデルとして良い影響を与え続けられるように走り続けますので、これからも応援よろしくお願ひします。